

流域全体で実施する対策

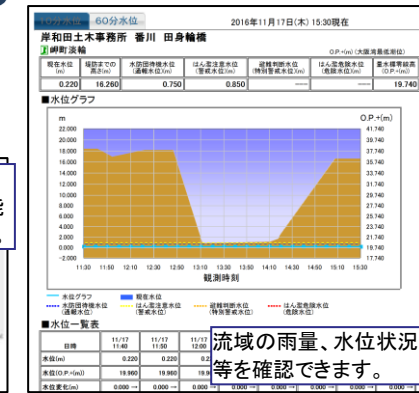
「逃げる」ための…

情報伝達・避難
(情報提供の取り組み)



地先における河川
氾濫や浸水の可能
性を確認できます。

【大阪府 洪水リスク表示図】
<http://www.river.pref.osaka.jp/>



【大阪府河川室 河川防災情報】
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>

【気象庁】(出典:気象庁ホームページより)
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
<携帯サイト>
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
【国土交通省 X バンド MP レーダ雨量情報】
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>
レーダによる降水状況などの情報を提供しています。

【大阪府河川室 画像公開システム】
<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>
大阪府の管理河川に設置されたカメラ画像を提供しています。

【おおさか防災ネット】
<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。
下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

川の防災情報



雨雲の動きや全国の川の
水位などの情報を携帯電話
で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
直接アクセスしてください

大阪府河川情報



身近な河川の水位や雨
量の情報を携帯電話で入
手できます。
<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
直接アクセスしてください

防災情報メール



地域に発令された警
報・注意報、避難勧告など、
防災情報をメールで携帯
にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net

地域や関係機関との連携

- 「防ぐ」
- 河川愛護活動への支援(地域住民、NPO)
 - 地域住民やNPO団体と河川環境の保全・再生・美化活動など連携した維持管理の実施
- 「凌ぐ」
- ため池の雨水貯留機能の保全(ため池管理者や関係団体)
 - 住宅等の開発行為に伴う調整池の恒久化(開発事業者)
 - 農地・森林の保全(水源涵養、保水機能)
 - 建物の耐水化、土地利用の誘導(河川氾濫時、流水時)
- 「逃げる」
- 情報提供(地域住民 岬町、阪南市)



河川愛護活動への支援



美化活動等と連携した維持管理

番川水系河川整備計画(原案)の詳しい内容について知りたい方は

- (1)以下のホームページに掲載しています。
 - ・大阪府河川室(アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)
 - ・大阪府岸和田土木事務所(アドレス <http://www.pref.osaka.jp/kishido/topics/index.html>)
- (2)以下の場所に資料を備えています。
 - ・大阪府 河川室 ・大阪府府政情報センター
 - ・大阪府 岸和田土木事務所(本部、尾崎出張所)
 - ・岬町役場 ・阪南市役所

閲覧と意見募集期間は、
平成28年12月2日(金)から
平成29年 1月6日(金)まで

ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》
〒599-0203
大阪府阪南市黒田52-3
大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所 あて
FAX 072-421-4000

《電子メールの場合》
メールアドレス kishiwadadoboku-g21@box.pref.osaka.lg.jp
(大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所 あて)

いただいたご意見を踏まえ
河川整備計画の内容の検討を
進めてまいります。

<概要版>

番川水系
河川整備計画(原案)

平成29年2月20日(月)
平成28年度 第8回
大阪府河川整備審議会

参考資料4

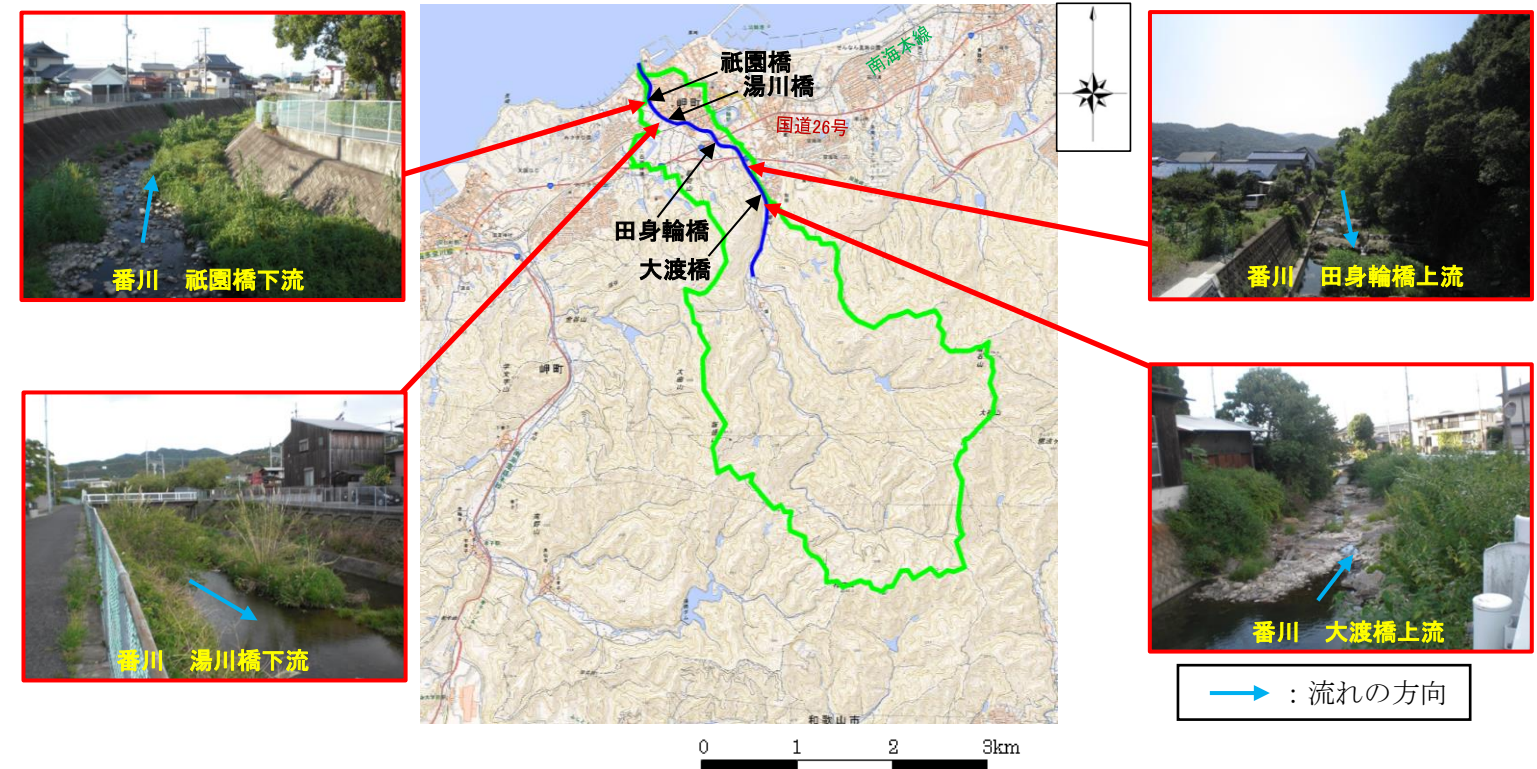


をとりとめました。

祇園橋下流を流れる番川

番川水系(流域)について

- 流域市町:大阪府岬町、阪南市
- 指定区間延長:番川3.0km
- 流域面積:番川8.95km²
- 沿川の土地利用は、下流~中流では宅地の占める割合が高く、上流では山地の占める割合が高い。
- 流域には、多くの文化財が存在する。



番川 祇園橋下流



番川 田身輪橋上流



番川 湯川橋下流



番川 大渡橋上流

→ : 流れの方向



大阪府の目標

将来目標「大阪府河川整備長期計画 H8.3 策定」

一生に一度経験するような大雨(時間雨量80ミリ程度)が降った場合でも、川があふれて、家が流され、人が亡くなるようなことをなくす。

- ・府管理河川全体で、目標達成に約1兆400億円、約50年必要
- ・治水施設で防げない洪水に対する総合的なリスク対策が必要

当面の治水目標「今後の治水対策の進め方 H22.6 策定」

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組方針】

- (1) 現状での河川氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施設を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間(概ね10年)での実現可能な対策及び実施後の河川氾濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標(今後20~30年)】

時間雨量50ミリ程度の降雨で床下浸水が発生させない。かつ、事業効率等を考慮し時間雨量65ミリもしくは時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水が発生させない。

【河川情報の提供】

住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

- ※ 時間雨量50ミリ程度の降雨 : 10年に一度発生する恐れがある降雨
- 時間雨量65ミリ程度の降雨 : 30年に一度発生する恐れがある降雨
- 時間雨量80ミリ程度の降雨 : 100年に一度発生する恐れがある降雨

総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

河川

治水施設の整備・保全(防ぐ)

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避する等、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。(河川改修・堆積土砂除去など)

流域

流出抑制(凌ぐ)

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用等)

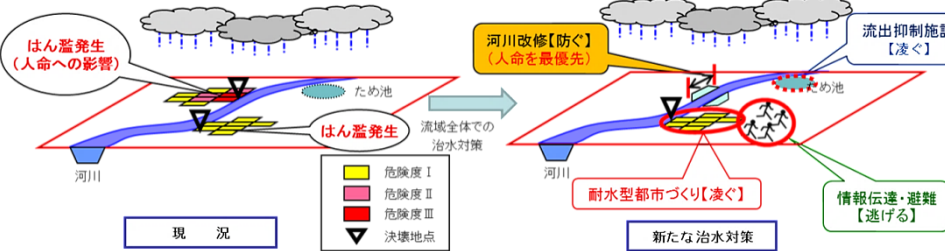
耐水型都市づくり(凌ぐ)

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。(家屋の耐水化・高床化などの促進)

情報伝達・避難(逃げる)

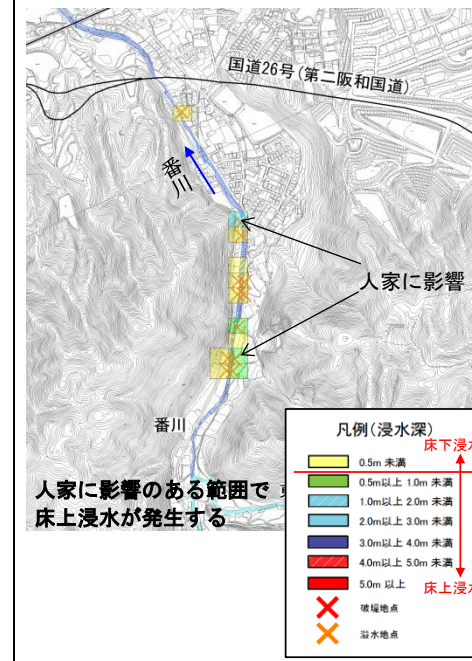
河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進等)

<流域全体での治水対策イメージ>



番川水系の目標

時間雨量65ミリ程度の雨が降った場合番川



事業効率等を考慮して、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水を防ぐことを当面の治水目標とします。

治水施設の整備(洪水対策)を実施します

当面の治水目標を達成

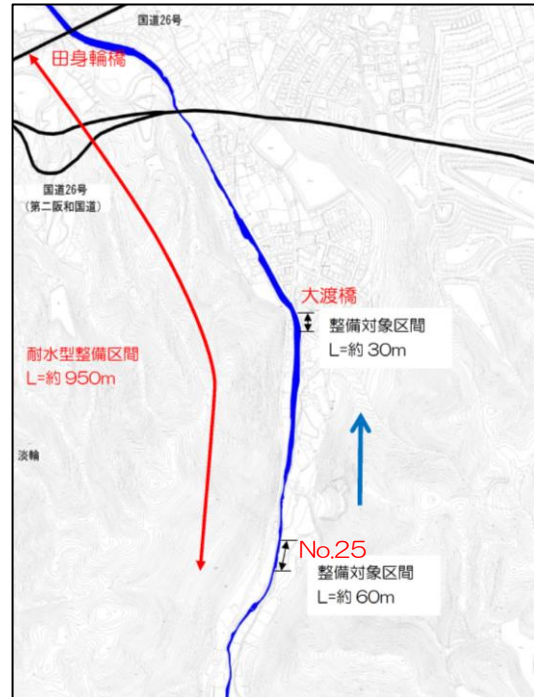
番川水系で実施する整備

「防ぐ」ための...

治水施設の整備(洪水対策)

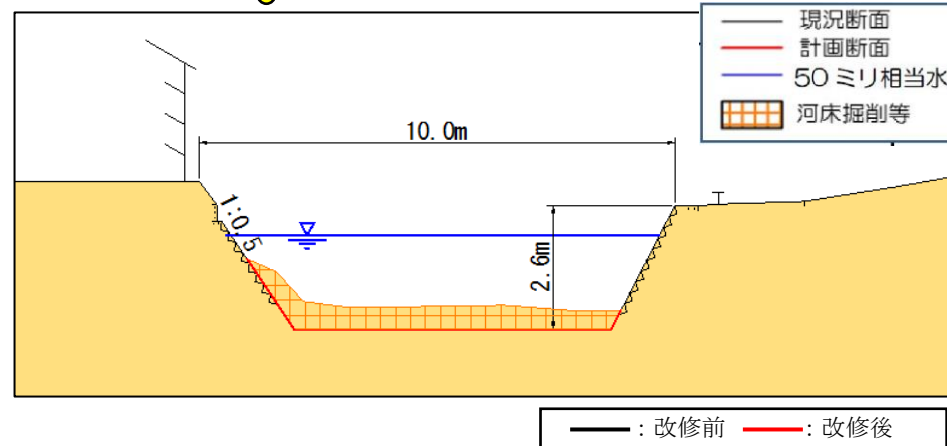
番川 流下能力が不足している大渡橋上流の約30m区間、No.25付近の約60m区間については、洪水対策を実施します。

- 河川改修(河道拡幅および河床掘削)により河積拡大を図り、流下能力を確保します。
- 河川改修の際には、可能な限り自然環境への配慮に努めます。



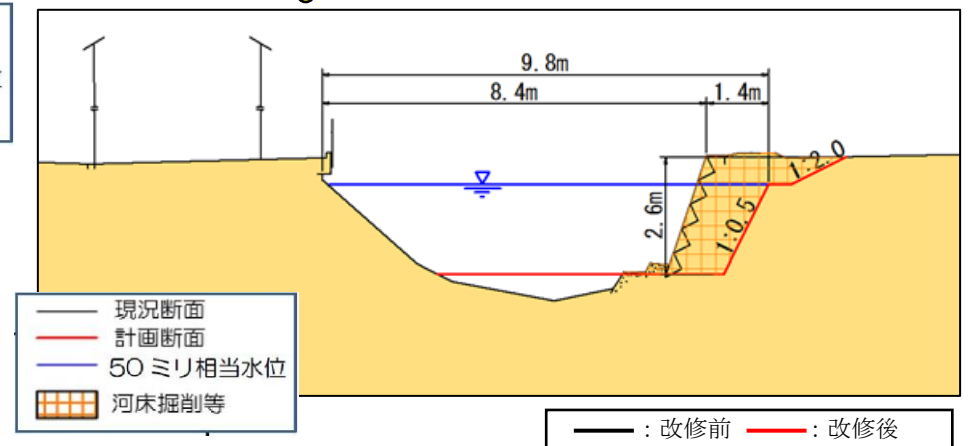
整備断面例(2.15km~2.18km付近)

(大渡橋上流付近) 整備延長:L=約30m



整備断面例(2.49km~2.55km付近)

(No.25付近) 整備延長:L=約60m



【田身輪橋上流~No.25付近(1.60km~2.55km) L=約950m】

耐水型整備区間として設定し、流域町と連携し、土地利用誘導に取組みます。また、浸水が想定される土地の居住者等に対して洪水氾濫・浸水の危険性を周知し、自主的な避難行動を促す等、ソフト対策に取組みます。

治水施設の保全(河川の維持)

維持管理の方法

- 堤防や護岸などの河川管理施設の定期点検や緊急点検の実施
- 地先の危険度などを考慮して優先順位を決め、計画的な維持管理
- 土砂堆積や植生繁茂を定期的に調査し、対策を実施
- 河川管理施設の被災時には応急対策を実施し、出水後に速やかな機能回復を実施
- 許可工作物(取水堰や橋梁)などについても河川管理施設と同等の点検・補修を行わせるなどの指導
- 定期的な河川パトロールを実施し、違法な耕作や工作物の設置についての監視
- 不法投棄によるごみは、適宜回収

危険度等からの優先度、住民等のニーズに応じて、維持補修等の対策を実施します。



河川管理施設の点検

河川環境の整備と保全

住民等のニーズに応じて、河川環境に配慮した整備に努めます。

- 下水道等との関係機関や地域住民やNPO等との連携による水質維持
- 瀬や淵、干潟など、自然環境が残る箇所について、今後の河川管理の際にはそれらの保全に配慮
- 川と人との豊かなふれあい活動の場の維持・形成に配慮

など



番川水系で確認される魚類例(カワムツ)



番川水系で確認される底生動物例(ヒラテテナガエビ)